

明治安田DC日本株式リサーチオープン(愛称:DC和太鼓)

◆ファンドの特色

元本確保型の商品ではありません

- ・主な投資対象 国内株式
- ・ベンチマーク TOPIX (東証株価指数)
- ・目標とする運用成果 ベンチマークを上回る運用成果を目指します

◆基準価額、純資産総額

基準価額	23,240円
純資産総額	2,520百万円

◆分配金の実績

第18期	第19期	第20期	第21期	第22期	設定来
0円	0円	0円	0円	0円	30円

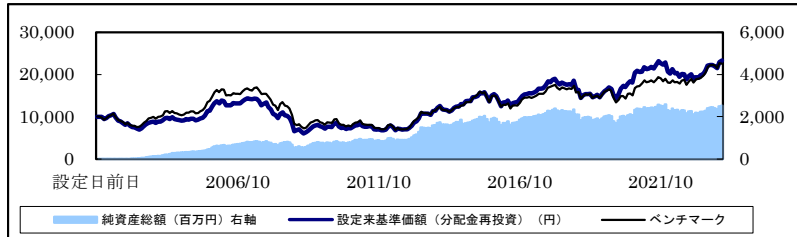
※分配金は、10,000円あたりの金額(円) ※分配金は増減したり、支払われないことがあります。

◆資産構成

株式	98.4%
プライム	95.1%
スタンダード	0.6%
グロース	2.7%
その他	—
株式先物	—
株式実質	98.4%
現金等	1.6%

※ マザーファンドへの投資を通じた純資産総額の比率です。

◆基準価額の推移グラフ



※ベンチマーク(TOPIX)は設定日前日(2001年11月29日)を10,000として指数化 ※グラフは月末値
 ※設定来基準価額(分配金再投資)は信託報酬控除後のものであり、分配金を再投資したものと見做す

◆ファンド(分配金再投資)とベンチマークの収益率とリスク(標準偏差)

	3カ月間	6カ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	5.98%	5.60%	24.62%	3.78%	10.05%	6.38%	3.90%
ベンチマーク収益率	1.85%	3.40%	25.09%	9.45%	9.63%	6.15%	3.75%
差異	4.13%	2.20%	-0.47%	-5.67%	0.42%	0.23%	0.15%
ファンドリスク(分配金再投資)	—	—	9.72%	12.86%	14.61%	15.28%	17.00%
ベンチマークリスク	—	—	10.01%	11.24%	13.90%	14.67%	16.69%

※ファンド(分配金再投資)、ベンチマークの収益率は、原則として年換算して表示しますが、1年に満たないものについては年換算していません。
 ※ファンド(分配金再投資)の収益率は、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入(再投資)した場合の収益率です。

◆株式組入上位10業種

DC日本株式リサーチオープン

	業種	組入比率	ベンチマークのウェイト
1	電気機器	24.42%	17.55%
2	情報・通信業	15.02%	7.73%
3	機械	8.32%	5.33%
4	化学	6.78%	6.19%
5	小売業	6.57%	4.30%
6	サービス業	6.56%	5.00%
7	医薬品	5.25%	4.62%
8	食料品	4.52%	3.37%
9	その他製品	3.40%	2.37%
10	卸売業	2.87%	7.00%

※組入比率はマザーファンドへの投資を通じた純資産総額に対する比率です。

※「明治安田DC日本株式リサーチオープン」は「明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド」と「明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド」で構成されています。それぞれのマザーファンドの組入状況は12月29日現在で「明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド」が90.57%、「明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド」が9.03%となっています。なお、それぞれのマザーファンドで同一銘柄を保有している場合は1銘柄として計算しています。

◆株式組入上位10銘柄

DC日本株式リサーチオープン(組入総銘柄数 117)

	銘柄名	組入比率	ベンチマークのウェイト
1	ソフトバンク	4.93%	0.85%
2	東京エレクトロン	4.61%	1.59%
3	キーエンス	3.99%	1.85%
4	ソニーグループ	3.83%	2.82%
5	信越化学工業	3.81%	1.60%
6	村田製作所	3.59%	0.81%
7	リクルートホールディングス	3.08%	1.35%
8	オリックス	2.69%	0.47%
9	伊藤忠商事	2.62%	1.22%
10	任天堂	2.55%	1.38%

※組入比率はマザーファンドへの投資を通じた純資産総額に対する比率です。

◆過去3カ月間のパフォーマンス分析

当ファンドとベンチマークの過去3カ月間の収益率の差異は+4.13%でした。
 当ファンドが投資している2本のマザーファンドの過去3カ月間の収益率は明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンドが+7.18%、明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンドが-1.51%となりました。投資行動としては、業績動向や株価水準などを勘案して個別銘柄の組入比率の変更および銘柄入れ替えを行いました。業種別の組入状況は12月末現在で情報・通信業、電気機器、機械などの組入比率をベンチマーク比で高く、銀行業、輸送用機器、卸売業などの組入比率を低くしました。ベンチマーク収益率との差異を分解すると業種選択効果、銘柄選択効果がともにプラスに寄与しました。業種選択効果については医薬品、海運業、情報・通信業などがマイナスに影響しましたが、電気機器、輸送用機器、銀行業などがプラスに寄与し、全体ではプラスに寄与しました。銘柄選択効果については卸売業、建設業、保険業などで組み入れた銘柄がマイナスに影響しましたが、電気機器、機械、医薬品などで組み入れた銘柄がプラスに寄与し、全体ではプラスに寄与しました。業種選択効果、銘柄選択効果がともにプラスに寄与したことからファンド全体の収益率はベンチマークを上回りました。

■当資料は、法令に基づく開示資料ではありません。■「明治安田DC日本株式リサーチオープン」の受益権の募集については、委託会社は、法令の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力は発生しております。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、加入者のみなさまに対して、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式など値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、明治安田アセットマネジメントが信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。■TOPIX(東証株価指数)に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンド

◆ファンドの特色

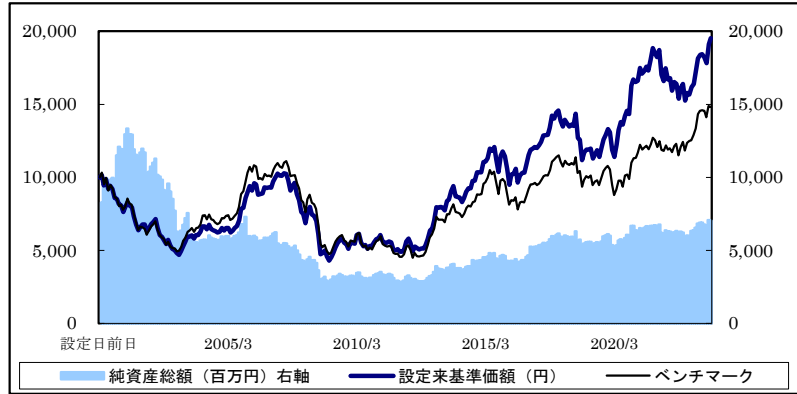
元本確保型の商品ではありません

- ・主な投資対象 国内株式
- ・ベンチマーク TOPIX（東証株価指数）
- ・目標とする運用成果 ベンチマークを上回る運用成果を目指します

◆基準価額、純資産総額

基準価額	19,519円
純資産総額	7,048百万円

◆基準価額の推移グラフ



※ベンチマーク（TOPIX）は設定日前日（2000年4月18日）を10,000として指数化
 ※グラフは月末値

◆資産構成

株式	98.9%
プライム	97.9%
スタンダード	—
グロース	1.0%
その他	—
株式先物	—
株式実質	98.9%
現金等	1.1%

※上記数値は純資産総額に対する比率です。

◆ファンドとベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3カ月間	6カ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率	7.18%	7.51%	27.92%	5.32%	11.79%	7.58%	2.86%
ベンチマーク収益率	1.85%	3.40%	25.09%	9.45%	9.63%	6.15%	1.67%
差異	5.33%	4.11%	2.83%	-4.13%	2.16%	1.43%	1.19%
ファンドリスク	-----	-----	9.84%	13.22%	14.76%	15.63%	17.32%
ベンチマークリスク	-----	-----	10.01%	11.24%	13.90%	14.67%	16.83%

※ファンド、ベンチマークの収益率は原則として年換算して表示しますが、1年に満たないものについては年換算していません。

◆株式組入上位10業種

日本株式ポートフォリオ・マザー

業種	組入比率	ベンチマークのウェイト
1 電気機器	26.50%	17.55%
2 情報・通信業	14.59%	7.73%
3 機械	8.65%	5.33%
4 化学	6.87%	6.19%
5 小売業	6.27%	4.30%
6 サービス業	5.89%	5.00%
7 医薬品	5.60%	4.62%
8 食料品	4.53%	3.37%
9 その他製品	3.31%	2.37%
10 その他金融業	2.97%	1.15%

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

◆株式組入上位10銘柄

日本株式ポートフォリオ・マザー（組入銘柄数 55）

銘柄名	組入比率	ベンチマークのウェイト
1 ソフトバンク	5.44%	0.85%
2 東京エレクトロン	5.09%	1.59%
3 キーエンス	4.41%	1.85%
4 ソニーグループ	4.22%	2.82%
5 信越化学工業	4.21%	1.60%
6 村田製作所	3.97%	0.81%
7 リクルートホールディングス	3.40%	1.35%
8 オリックス	2.97%	0.47%
9 伊藤忠商事	2.89%	1.22%
10 任天堂	2.82%	1.38%

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

◆過去3カ月間のパフォーマンス分析

当マザーファンドとベンチマークの過去3カ月間の収益率の差異は+5.33%でした。投資行動としては、業績動向や株価水準などを勘案して個別銘柄の組入比率の変更および銘柄入れ替えを行いました。業種別の組入状況は12月末現在で電気機器、情報・通信業、機械などの組入比率をベンチマーク比で高く、銀行業、輸送用機器、卸売業などの組入比率を低くしました。ベンチマーク収益率との差異を分解すると業種選択効果、銘柄選択効果がともにプラスに寄与しました。業種選択効果については医薬品、海運業、情報・通信業などがマイナスに影響しましたが、電気機器、輸送用機器、銀行業などがプラスに寄与し、全体ではプラスに寄与しました。銘柄選択効果については卸売業、建設業、銀行業などで組み入れた銘柄がマイナスに影響しましたが、電気機器、機械、医薬品などで組み入れた銘柄がプラスに寄与し、全体ではプラスに寄与しました。業種選択効果、銘柄選択効果がともにプラスに寄与したことからファンド全体の収益率はベンチマークを上回りました。

■当資料は、法令に基づく開示資料ではありません。■「明治安田DC日本株式リサーチオープン」の受益権の募集については、委託会社は、法令の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力は発生しております。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、加入者のみなさまに対して、「明治安田DC日本株式リサーチオープン」の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、明治安田アセットマネジメントが信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。■TOPIX（東証株価指数）に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は株式会社JPIX総研又は株式会社JPIX総研の関連会社に帰属します。

明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンド

◆ファンドの特色

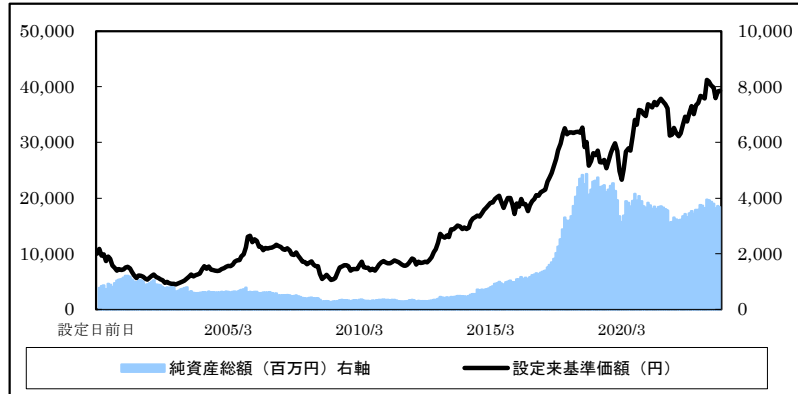
元本確保型の商品ではありません

- ・主な投資対象 国内株式
 - ・ベンチマーク なし
 - ・目標とする運用成果 わが国の中小型株式に投資し、信託財産の成長をめざして積極的な運用を行います
- ※当ファンドのベンチマークは目論見書等に定めていません。

◆基準価額、純資産総額

基準価額	39,263円
純資産総額	3,676百万円

◆基準価額の推移グラフ



◆資産構成

株式	98.4%
プライム	71.8%
スタンダード	6.4%
グロス	20.2%
その他	—
株式先物	—
株式実質	98.4%
現金等	1.6%

※上記数値は純資産総額に対する比率です。

◆ファンドとベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3カ月間	6カ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率	-1.51%	-4.70%	11.96%	3.17%	8.73%	10.04%	5.93%
ベンチマーク収益率	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
差異	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
ファンドリスク	-----	-----	12.18%	13.35%	16.83%	16.12%	19.09%
ベンチマークリスク	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

※ファンド、ベンチマークの収益率は原則として年換算して表示しますが、1年に満たないものについては年換算していません。

◆株式組入上位10業種

中小型株式ポートフォリオ・マザー

	業種	組入比率
1	情報・通信業	19.96%
2	サービス業	13.59%
3	小売業	9.88%
4	化学	6.13%
5	機械	5.38%
6	電気機器	4.66%
7	食料品	4.62%
8	その他製品	4.40%
9	繊維製品	3.64%
10	建設業	3.35%

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

◆株式組入上位10銘柄

中小型株式ポートフォリオ・マザー（組入銘柄数 67）

	銘柄名	組入比率
1	FCE Holdings	3.84%
2	日本曹達	2.63%
3	ヨシムラ・フード・ホールディングス	2.47%
4	エービーシー・マート	2.35%
5	Appier Group	2.34%
6	前田工織	2.31%
7	ファーストアカウンティング	2.17%
8	三和ホールディングス	2.16%
9	NextOne	2.14%
10	カバー	2.12%

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

■当資料は、法令に基づく開示資料ではありません。■「明治安田DC日本株式リサーチオープン」の受益権の募集については、委託会社は、法令の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力は発生しております。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、加入者のみなさまに対して、「明治安田DC日本株式リサーチオープン」の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、明治安田アセットマネジメントが信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

確定拠出年金向け説明資料

明治安田DC日本株式リサーチオープン(愛称:DC和太鼓)

	リターン
設定来	132.96

<リターン実績表> 単位%

設定日 2001年11月30日

	リターン
2023年12月	1.87
2023年11月	6.69
2023年10月	-2.48
2023年 9月	-1.22
2023年 8月	-0.14
2023年 7月	1.02
2023年 6月	5.72
2023年 5月	4.24
2023年 4月	1.18
2023年 3月	2.99
2023年 2月	-0.54
2023年 1月	3.33

	リターン
2020年12月	2.19
2020年11月	12.88
2020年10月	-1.67
2020年 9月	3.04
2020年 8月	4.58
2020年 7月	-1.33
2020年 6月	3.75
2020年 5月	8.42
2020年 4月	7.35
2020年 3月	-4.49
2020年 2月	-9.52
2020年 1月	-1.99

	リターン
2017年12月	2.90
2017年11月	-0.92
2017年10月	5.98
2017年 9月	3.70
2017年 8月	0.55
2017年 7月	0.19
2017年 6月	3.47
2017年 5月	2.00
2017年 4月	1.55
2017年 3月	-0.37
2017年 2月	0.96
2017年 1月	0.56

	リターン
2014年12月	0.26
2014年11月	5.53
2014年10月	-0.39
2014年 9月	5.06
2014年 8月	-0.05
2014年 7月	2.55
2014年 6月	5.29
2014年 5月	2.73
2014年 4月	-3.46
2014年 3月	-0.17
2014年 2月	-0.81
2014年 1月	-6.99

	リターン
2022年12月	-6.77
2022年11月	1.87
2022年10月	4.52
2022年 9月	-5.85
2022年 8月	-0.49
2022年 7月	3.67
2022年 6月	-4.61
2022年 5月	0.23
2022年 4月	-4.33
2022年 3月	4.95
2022年 2月	-2.29
2022年 1月	-9.49

	リターン
2019年12月	2.78
2019年11月	2.56
2019年10月	4.60
2019年 9月	5.42
2019年 8月	-4.12
2019年 7月	2.51
2019年 6月	1.88
2019年 5月	-5.80
2019年 4月	0.58
2019年 3月	-0.21
2019年 2月	1.69
2019年 1月	4.63

	リターン
2016年12月	2.80
2016年11月	5.53
2016年10月	5.07
2016年 9月	0.53
2016年 8月	0.77
2016年 7月	4.31
2016年 6月	-8.48
2016年 5月	3.72
2016年 4月	-0.03
2016年 3月	7.60
2016年 2月	-10.17
2016年 1月	-7.37

	リターン
2021年12月	2.20
2021年11月	-1.61
2021年10月	-1.84
2021年 9月	4.10
2021年 8月	3.76
2021年 7月	-1.55
2021年 6月	1.76
2021年 5月	0.69
2021年 4月	-2.22
2021年 3月	5.13
2021年 2月	0.42
2021年 1月	-1.31

	リターン
2018年12月	-11.57
2018年11月	-0.60
2018年10月	-11.47
2018年 9月	5.79
2018年 8月	-0.74
2018年 7月	0.78
2018年 6月	-1.53
2018年 5月	-1.77
2018年 4月	3.10
2018年 3月	-2.68
2018年 2月	-4.69
2018年 1月	1.23

	リターン
2015年12月	-2.68
2015年11月	2.38
2015年10月	10.14
2015年 9月	-7.40
2015年 8月	-6.95
2015年 7月	1.93
2015年 6月	-0.99
2015年 5月	5.35
2015年 4月	1.55
2015年 3月	0.46
2015年 2月	6.40
2015年 1月	-0.05

※月末の基準価額にて算出
 ※リターンは月次の騰落率を掲載
 ※基準価額は、分配金を再投資して算出

■当資料は、法令に基づく開示資料ではありません。■「明治安田DC日本株式リサーチオープン」の受益権の募集については、委託会社は、法令の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力は発生しております。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、加入者のみなさまに対して、「明治安田DC日本株式リサーチオープン」の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式など値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、明治安田アセットマネジメントが信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。■TOPIX(東証株価指数)に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。